

# 行政視察内容報告書

令和 2 年 5 月 12 日

土佐清水市議会議長

永野裕夫 様

会派名 新風会

(提出者) 氏名 細川博史



下記のとおり報告いたします。

項目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	永野裕夫・弘田条・細川博史 計 3 人
期日	令和 2 年 2 月 15 日から 2 年 2 月 16 日まで
【概要】(年月日・場所・内容)	
○視察先 室戸世界ジオパークセンター	
むろと廃校水族館	
荒川電工	
○室戸世界ジオパークセンター	
令和2年2月15日に、室戸ユネスコ世界ジオパークへ、会派のメンバー3人で研修へ行ってきました。	
室戸ユネスコ世界ジオパークは、私達、土佐清水の目標であるジオパーク認定に向けた取り組みより1歩も2歩も前に行っていますが、土佐清水市も負けず前に進んでいこうと考えています。	
室戸世界ジオパークセンターは三津という地域にあり、旧室戸東中学校に建てられていました。	
スタッフの方に出迎えいただき、まずお互いに名刺交換を行い、センター内を案内していただきました。	
インフォメーションには2人が常駐しておられるようで、室戸ユネスコ世界ジオパークの楽しみ方を教えていただきました。	
最初に、室戸の「大地のなりたち」を知る展示コーナーに案内され、パネル等の	

## 【所 感】

説明を受けました。土佐清水とはまた違った成り立ちを学ぶことができ、新たな発見がありました。

次に、「大地と人の共生」というコーナーでは、自然の恵みと地元の人たちの経験や工夫をヒントとした生き方を学び考えるコーナーで、色々な資料があり、興味深く、私たちも大地とともに暮らして、色々な恩恵を自然から受けているなど思いました。

「人といとなみ」では、室戸の産業文化のコーナーで、先人の知恵が詰まった営みが垣間見えました。

大型スクリーンでの「ジオシアター」では、迫力ある映像に圧倒されました。本当に隅々まで室戸の大地、海、文化を調査されたご苦労が垣間見えました。大変面白く見入りました。

この後は、ちょうどガイドツアーのメンバーにもお会いでき、意見交換ができ、有意義な時間を過ごしました。

### ○むろと廃校水族館

室戸世界ジオパークセンター視察の後、今話題のむろと廃校水族館を視察しました。

テレビや新聞等では、来館者が増加の中、人気がとどまるところを知らないとの情報でしたので、興味津々でした。

廃校という暗いイメージとは裏腹に、とても明るく、とても和やかな雰囲気の校舎。身の丈にあった、片意地を張った所のない、どこにでもある海の生物が飼育されており、小さな子供から大人まで、安心して楽しめる施設で、ただ大きければいいという発想を覆すように、遊び心をくすぐる演出と、思わず童心に帰る、まるでタイムスリップしたかのような教室の雰囲気に満ち溢れ、ユニークな考えがあり、興味をあおられました。

プールには、色とりどりの海の生物が自由にはなたれ、心地よく泳いでいて心が洗われる思いでした。本当にスタッフの皆さんの心情が生きていると考えさせられました。

土佐清水も、廃校を利用した施設活用を考えてみたらどうでしょうか。

### ○荒川電工

高知市の荒川電工株式会社に、日立サステナブルエナジー株式会社の方に来てい

